

# 神様に導かれて

## 娘家族を地震から守って、健康の祝福まで

高橋貞夫長老(飯田万民教会)



自宅の前で妻(高橋光子)といっしょに

私の両親はホーリネス系のクリスチャンで、私自身は中学・高校とミッション系の学校でしたので、教会へ行くのが当たり前のような環境で育ちました。ただし、太平洋戦争中は教会へ行くことができませんでした。大学生の時に酒を始め、悪い遊びもいっぱい体験し、ついには教会にも行かなくなりました。社会人になって再び教会へ行くようになりましたが、生活態度は一向に改まりませんでした。しかし、自分が大きな罪を犯し続けているという自覚はほとんどなく、ちゃんと教会へ行っていると思っていました。

1994年5月、近くに青い色のネオンの十字架を立てた教会があることに気がつきました。日本でネオンの十字架のある教会は珍しく、妻の光子執事と二人、興味半分で5月末の聖日に行きました。その頃の私の信仰生活は最悪で、何とかして脱出しなければと思っておりまして、他の教会に移ろうかという思いも持っていた時期でした。その教会が柳吉牧師先生が3か月前の2月末に着任された飯田万民教会でした。まさに神様のお導きでした。その年の10月に神様は詩篇94篇17-18節をもってそのことを悟らせてくださいました。以来、今日に至っております。

1995年4月の飯田万民教会祈禱院の開院式に本教会のマンミン祈禱院長先

生が来られて、聖会と祈禱会を導かれましたが、そのときに初めて聖霊の火のバプテスマを受けました。体中が燃えるように熱くなり、汗と鼻水でぐちゃぐちゃになり、ものすごい感動を受けました。先日、イ スズン牧師先生が来飯されたときに、その時の私の様子を良く覚えていてと言われて、とても感激しました(水の洗礼は17歳の時)。

飯田万民教会に来て酒も断ち、十分の一献金、夕方礼拝、毎日の祈禱会、早天礼拝と順次ささげようになりました。飯田万民教会へ来てから多くの恵みを受け

ていますが、その中の一つを証します。1995年1月に発生した神戸大地震の時のことです。その月の前半に妻と二人の息子が現れ、娘は現れない夢を続けて2回見ました。不思議に思い祈っていました。また同じ夢を見て、その夢の中では娘の助けを求めて叫んでいました。そして次の日、神戸大地震が起きたのです。当時、娘とその家族は神戸市の近くに住んでいて、3日間音信不通になりました。後日、娘の話によると、電車は倒れて高速道路は崩れ落ち、娘の住んでいたマンションの周りの建物はほとんどが崩

れている中で、娘の住んでいたマンションだけは全く問題がなく、娘の家はたいして荒れることもなく、立て掛けてあった十字架も倒れなかったということでした。そして、隣の住人がそれを見て、「私も西洋の神様に切り替えよう」と言ったというのでした。私は神様が夢をもって私に娘の助けを求めさせたことを悟り、神様のすごい愛に深く感謝いたしました。

私は1935年生まれ75歳ですが、海外旅行をしても少しも疲れず、健康の祝福をいただいて感謝しています。2009年には堂会長イ・ジェロク牧師先生が導かれたイスラエル連合聖会に参加し、2010年には妻と一緒に初めて本教会の夏のキャンプに夫婦で参加することができ、素晴らしい恵みを受けました。また、海の塩水が甘い水に変わった(出15:25)ムアの甘い水の泉にも行き、七たび身を浸した後、水虫がいやされました。

「いのちの種」のメッセージ(創世記講解29-32)は11回聞きましたが、聞いているうちに髪が少しずつ黒くなり、今は頭の上と後ろが黒髪になっています。また、痛んでいた右膝がいやされ、思わぬ金銭的祝福も受けて、夫婦で夏のキャンプにも参加できました。イザヤ46章3-4節にあるように、神様のお導きの中にあることを心から感謝し、栄光を帰すものであります。



ハンカチ集会で講師イ・ヒョン牧師(講壇左)の導きで賛美している聖徒たち

## 山形万民教会創立記念礼拝およびハンカチ集會

山形万民教会の創立13周年記念礼拝およびハンカチ集會が11月7日、イ・ヒョン牧師(本教会男女宣教会総指導教師)を講師に迎えてあった。

「良い実(マタイ16:16)」という説教に続き、本教会のパッションチームと山形万民教会の聖徒たちの恵み深い特別賛美があった。その後、ハンカチ集會でイ・ヒョン牧師が神の力の込められたハンカチ(使徒19:11-12)で祈ると、交通事故の後遺症、全身の痛みがいやされ、つわり、歯痛がなくなり、聖霊の火を受けるなどの証しがあふれて、神様に栄光を帰した。また、聖徒たちは6日と8日、9日にイ・ヒョン牧師に相談して家庭や職場の問題が解決されて慰められ、挑戦を受けて、新しいエルサレムへの望みが加わった。

### 日本支教会の連絡先

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト大阪万民教会  
〒395-0807 長野県飯田市照切石 3883-4  
T) 0265-56-8286  
<http://iidamanmin.to.cx/>

・名古屋万民教会  
〒465-0014 名古屋市中東区上菅 1-916  
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト山形万民教会  
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4  
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト別府万民教会  
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41  
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト大阪万民教会  
〒591-8023 大阪府堺市中百舌鳥町  
5-775-15  
T) 072-220-5289  
<http://www.osmanmin.com/>

・イエス・キリスト旭川万民教会  
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23  
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト東京田端万民教会  
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F  
T) 03-3809-3326  
<http://tabata.manmin.or.kr/>

・イエス・キリスト川崎万民教会  
〒210-0818 神奈川県川崎市川崎区中瀬2丁目12-8  
グリーンヴァレ 301号室  
T) 044-277-0178

・イエス・キリスト松本万民教会  
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343  
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト舞鶴万民教会  
〒624-0913 京都府舞鶴市宇上安久 138  
T) 0773-75-5656  
<http://www.manmin.jp/>

・岡山万民教会  
〒718-0005 岡山県新見市上市56フアラウコーポラ  
T) 0867-72-7276

・イエス・キリスト八千代万民教会  
〒276-0045 千葉県八千代市大和田 670  
T) 047-483-3587

・イエス・キリスト鉢田万民教会  
〒311-2102 茨城県鉢田市市濁沢1080-6  
T) 0291-39-9177

・イエス・キリスト東京万民教会(東京万民宣教センター)  
〒167-0051 東京都杉並区荻原 2-29-13  
T) 03-6915-1740

・横浜鶴見福音教会(協力)  
〒230-0047 神奈川県横浜市鶴見区下野谷町 3-104-4  
T) 045-521-5843

### 01 ニュース

世界220か国に生中継、爆発的な聖霊のみわざ  
ヨーロッパに再び熱く聖霊の福音と神の力が伝えら  
れた2010年エストニア聖会の速報

### 02 いのちのみことば

火のような祈り  
よく火のように祈ると言われるが、そのまことの意味は  
何か。御霊に感じて動かされ、聖霊に満たされて神の  
みこころに従って祈れば、神が喜んで答えてくださる。

### 03 特集1

私たちの救い主イエス様の御足の跡を追って  
イスラエル連合聖会1周年を記念して、4回にわたり聖  
地を巡礼する。最初はイエス様がお生まれになった  
ベツレヘムを歩く。

### 04 証し

「神様に導かれて」  
高橋貞夫長老(飯田万民教会)  
支教会住所

# 万民ニュース

第97号 2010年 11月 28日  
**MANMIN NEWS**  
TEL: 82-2-818-7042  
[www.manmin.org/Japanese](http://www.manmin.org/Japanese)

## 220か国に中継、爆発的な波及効果が期待される 神の愛のうちに開かれた2010年イ・ジェロク牧師招へいエストニア聖会



世界的なリバイバル、イ・ジェロク牧師は10月30日と31日、ヨーロッパ連合(EU)のエストニアの首都タリンにある室内最大競技場で聖会を導いた。エストニア・キリスト教史上人数が集まって、数多くの人々が主イエスを受け入れて、いやしの証に神に栄光を帰した。GCN、地上波、ケーブル、衛星放送で世界220か国に中継され、爆発的な波及効果が現れている。

現在、ヨーロッパのキリスト教はその命脈がほとんど途絶えたと言っても言いすぎでないほど低迷している。多くの人が創造主の神を認めないで、むしろ神に立ち向かおうとする動きがあらこちで起きているのが現実である。

このような中、10月30、31日の二日間、エストニアの首都タリンにある「サクスルホール・アリーナ」で世界的なリバイバル、イ・ジェロク牧師を講師に聖会が開かれ、大きい反響を呼んだ。イ・ジェロク牧師は2000年以後、ウガンダ、パキスタン、インド、アメリカなどで数回、数十万、数百万人が集まった聖会を導いたことがある。

10月30日、聖会が始まる5分前、すでに会場は人でぎっしり埋まり、席がないので家のテレビで参加するように帰ってもらわなければならないほどだった。本教会の芸能委員会公演チームの恵み深い特別賛美の

後、講師イ・ジェロク牧師は「創造主の神」というメッセージを伝えた。続いていやしの祈りがあったが、いやされた人々が証しをするために講壇上がった。スラブ(女性、54才)は「多発性硬化症で苦しんでいたけれど、きょう祈りを受けて、からだ動くようになった」とその場で車椅子から立ち上がり一人歩き始めた。マルタ(女性、77才)は乳がんの痛みがなくなったと証した。その他にも各種のがん、心臓病がいやされて、視力が回復するなど爆発的な聖霊のみわざが現れた。

二日目の31日、イ・ジェロク牧師は「イエスがなぜ私たちの救い主であるのか」というタイトルで「イエス様は私たちの罪のためのなだめの供え物になられた。私たちがイエス様を救い主として受け入れれば罪が赦されて救われます」と強調した。説教を終えて

病人のために祈り始めると、人々は講壇が上がって、がん、てんかんなどの病気がいやされたことを証した。生まれた時から片方の目が見えなかった子どもがいやされて、見えるようになり始めた。会場のサクスルホール・アリーナはエストニアで一番大きい室内競技場である。ここを満席にしたことは今まで二度しかなかったが、どちらも有名な歌手の公演だったという。今回の聖会はエストニア・キリスト教集會史上、最大人数の記録を立てた。

また、この聖会はエストニアのキリスト教テレビ放送と一般放送でも中継された。さらにGCN(Global Christian Network: マンミンテレビのチャンネル名)をはじめ、地上波、ケーブル、衛星で世界220か国に中継され、世界各地でインターネット、あるいはスクリーン聖会に参加した。

聖会前、10月28日に開かれた記者会見でイ・ジェロク牧師は「私は100以上の国から聖会を開くよう依頼されていますが、神様が許されてはじめて行けます。神様はヨーロッパの人々が神様からとても遠く離れているので、私が行かないと言われました」と語った。今回のエストニア聖会は、プロ

テスタントが生まれたヨーロッパに反キリスト教的なムードが急速に広がっていて、むしろ仏教、イスラム教が教勢を拡大しつつある中、神の摂理のうちに開催されたものである。ヨーロッパと全世界に聖霊の福音と神の力が宣べ伝えられたこの聖会は、神の愛のうちに驚くべき霊的リバイバルの契機になると期待される。

### 日本支教会12月スケジュール

12/4(土)	舞鶴万民教会 いやし集會
12/11(土)	別府万民教会 いやし集會
12/12(日)	東京田端万民教会 いやし集會
12/22(水)	八千代万民教会 クリスマスといやし集會
12/25(土)	名古屋万民教会 クリスマスといやし集會
12/26(日)	東京万民教会 いやし集會
12/29(水)	飯田万民教会 いやし集會



堂会長イ・ジェロク牧師

「火のような祈り」とは御霊に感じて聖霊に動かされ、満されているうちに神のみこころに従って祈ります。義人の祈りのように、神のみこころにかなった祈りは、神が喜んでその香をかかれます。神に喜ばれれば、御霊によってその喜びが祈る人の心にも伝えられます。すると、祈る人はよりいっそう御霊に感じて聖霊に動かされ、満されるようになります。まるでめらめらと燃え上がる火のように、心もからだも熱くなって、幸せと喜びで満たされます。まさにこのような祈りが「火のような祈り」です。

それでは、どのようにしてこそ火のような祈りができるのでしょうか？

**1. 自分の思いを働かせて祈ってはいけません**

まず聖霊に満されてこそ、聖霊の働きかけに従って、神のみこころにかなって祈れます。御霊に感じているうちに祈れば、どんな課題で祈っても、父なる神の心にながら祈りができます。しかし、自分の思いを働かせて祈る時は、神が願われる流れと違って、とんでもない祈りをすることもあります。また、神が喜んでかかれるほどの香になれないので、火のような祈りをするのは難しいです。

自分の思いを働かせて祈れば、自分が見て良いとおりに求めるようになります。「神様がこのように答えてくださればいい」「こういう方法で祝福してください」「など、すべてで自分の思いに合わせて祈ると、聖霊に満たされることが難しいのです。

＜マタイの福音書18:19＞に「もし、あなたがたのうちふたりが、どんな事でも、地上で心を一つにして祈るなら、天におられるわたしの父は、それをかなえてくださいます。」とあります。ここで「ふたり」とは、まさに祈る人とその人のうちにおられる聖霊のことです。

私たちが聖霊と一つになり、聖霊に働きかけられるまま祈れば、「ふたり」が心を一つにして祈るのです。このような祈りの威力は大したもの。どんな事でも、祈るとおりに父なる神がすべてをかなえてくださるからです。いつも聖霊と心を一つにして祈ることによって、求めることはみな答えられ、神に栄光を帰されますように。

**2. 心から悪を捨てなければなりません**

心から悪を捨ててはじめて神が望まれる祈りができます。ここで「心の悪」とは、熱心に聖潔に向かって進んでいる人の心にまだ残っている悪のことではありません。このような人は、心に悪が発見されれば、すぐに

# 火のような祈り

「ですから、あなたがたは、互いに罪を言い表わし、互いのために祈りなさい。いやされるためです。義人の祈りは働く、大きな力があります。」(ヤコブ5:16)

悟って悔い改められます。たとえまだ完全に聖められてはいなくても、神との間に罪の隔ての壁が積みまれません。ところが、心の悪が表に現れても、自分の悪が悟れない人がいます。

たとえば、自分の義のゆえに平和を破ります。または、教会や目上の人に対して不平を言って、不満を持ったりもします。自分より劣っているように見える人がほめられれば、すぐ悔しくなって認めたくなくなり、それを口に出します。ほめている人やほめられている人の悪口を言ったり、さばいたりします。たとえそのように口に出さないとしても、自分から気を落としてしまい、聖霊に満たされなくなったりもします。こういう心と口、行いはみな悪から出たものです。心に悪をいじめて祈るとき、その祈りは神のみもとに立ち上がりません。＜箴言15:29＞に「主は悪者から遠ざかり、正しい者の祈りを聞かれる。」とあり、＜詩篇66:18＞には「もしも私の心にいく不義があるなら、主は聞き入れてくださらない。」とあります。したがって、まめに心の割れをすることによって、悪はどんな悪でも避け、神が願われる祈りをささげて、求めることはどんな事でも答えられますように。

**3. 教会と牧者と魂のために、心から愛をもって祈らなければなりません**

私たちが祈るとき、祈らなければならないからとか、いつもしているとおりに祈ってはいけません。たとえば、教会のために祈るとしたら、どうしたらよいでしょうか？ 教会を愛する心をもって、終わりの時の摂理をすべて実現することを切に望む心で祈らなければなりません。ところが、教会のために祈るといながら、思いは全く違う所に行っていたり、教会とかかわりのない他の祈りをする

ば、その祈りは香が全く立ち上がりません。牧者と魂のために祈る時も同じです。いつもしているとおりに、口先だけで祈るのではなく、心から信じて、牧者と魂を愛するゆえに祈らなければなりません。たとえば、魂のために祈る時も、ひとりでも多くの魂が救われるように望む牧者の心にならなければなりません。罪と悪がはびこっているこの世代の中にあって、聖徒が感化されないように、再び罪を犯さないように望む、切なる牧者の心で祈らなければならないのです。

教会のすべての働きのためにも、ただ神に栄光だけを帰すことを望む牧者の心で祈るべきであり、いくらか細かなことでも神の栄光を遮る事が起これば、ひどく申し訳ない心で祈らなければなりません。聖殿建築も同じように、ただ「うまくいったらいい」という心で祈るのではなく、神を愛するなら、聖殿建築をまるでわが家を作るかのように感じて、愛と心を込めて祈るでしょう。

このように、どんな事でも、心から信仰と愛をもって祈るとき、祈ったすべての内容が全き香になり、父なる神のみもとに立ち上がり、全き香をささげたほど報いが与えられます。したがって、いつも火のような祈りをささげられますように、主の御名によって祝福して祈ります。

**フォーカス**

**イ・ジェロク牧師、オバマ大統領ボランティア活動賞受賞**



委嘱盾 感謝盾 ボランティア活動賞盾

アメリカのバラク・オバマ大統領が授けるボランティア活動賞を堂会長イ・ジェロク牧師が受賞した。この賞はアメリカ国内の奉仕活動を含めて、社会に寄与した功労者に授ける賞である。イ・ジェロク牧師はこれまでアメリカ、イスラエル、インド、パキスタンなど数多くの国で、目の見えない人の目が見えて、歩けない人が歩けるように、がん、エイズなどの病気がいやされ、麻薬中毒から解放されるなど、聖書に記された驚くべき神の力あるわざを現した。この功を認められて、アメリカ連邦捜査局FBIと司法省麻薬取締局DEAの推薦で受賞するようになったのである。また、イ・ジェロク牧師はアメリカ司法省麻薬取締局の市民アカデミー国際諮問委員に委嘱され、FBIから感謝の盾を受けた。



Tel: 82-2-818-7042, 7063  
Fax: 82-2-818-7048  
www.manmin.org  
e-mail: ksy7042@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107  
Fax: 82-2-813-7107  
www.manmintv.org  
e-mail: info@manmintv.org



Tel: 82-2-818-7039  
Fax: 82-2-830-5239  
www.wcdn.org  
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

**万民 ニュース**

発行人: イ・ジェロク  
編集者: ビン・グンソン  
www.manmin.org/Japanese  
編集発行: 万民中央教会  
〒152-848 韓国ソウル市クソク区クソク235-3  
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048

# イスラエル連合聖会1周年記念 私たちの救い主イエス様の御足の跡を追って



福音が始まったところだが、イエス・キリストが人類の救い主であることを知らずに、いまだにメシアを待っている国がイスラエルである。

このようなイスラエルを目標とするために、イ・ジェロク牧師は2007年7月23日から2009年9月7日まで、777日間の宣教を行った。

2009年イ・ジェロク牧師招へイスラエル連合聖会1周年を記念して、イエス様の御足の跡を追って、4回にわたり聖地を巡らしようと思う。イエス様をこの地上に遣わされた神の愛を再確認できれと思う。

**ダビデの故郷、イエス様がお生まれになったベツレヘム**

エルサレムの南へ約8kmの距離にあるベツレヘムは、周りにオリーブの木が多く、海拔770mの丘の上にある。旧約聖書で「エフラテ」とも呼ばれる(創世記35:19, 48:7;ミカ5:2)ここは、ゼブルンのベツレヘム(ヨシュア記19:15)とは区別される、ユダのベツレヘムである(士師記17:7)。預言者ミカは「ベツレヘム・エフラテよ。あなたはユダの氏族の中で最も小さいものだが、あなたのうちから、わたしのために、イスラエルの支配者になる者が出る。その出ることは、昔から、永遠の昔からの定めである。」と預言して(ミカ5:2; マタイ2:6)、その預言はイエス様のご生誕によって成就した(マタイ2:1; ルカ2:15)。

東方で星を見てベツレヘムにやってくる博士たちはみどりごイエスを伏し拝んで、宝の箱をあけて黄金と乳香と没薬を贈り物としてささげた(マタイ2:9-11)。ベツレヘムは「パン屋」という意味を持つ。＜ヨハネの福音書6:51＞でイエス様が「わたしは、天から下って来た生けるパンです。だれでもこのパンを食べるなら、永遠に生きます。またわたしが与えようとするパンは、世のいのちのための、わたしの肉です。」と語られている。すなわち、人類を生かす生けるパンになろうと、イエス様は約二千年前に人となってベツレヘムでお生まれになったのだ。



**イエス様のご生誕を記念する教会、謙遜の門**

世界で最も古い教会の一つ、聖誕教会はイエス様がお生まれになった場所を記念する教会で、ベツレヘム市郊外にある。

A.D.135年にローマ皇帝ハドリアヌスがキリスト教徒殺政策の一環として、この場所にアドニス神殿を建てたが、キリスト教がローマ国教として公認されて以後、326年にコンスタンティヌス皇帝の母ヘレナがアドニス神殿を壊して、この聖誕教会を建てた。教会はエルサレム大主教の管理の下、339年に完成されたが、敵の侵入により深刻な被害をこうむった。その後531年にユスティヤヌス皇帝が完工した。聖誕教会の出入口の高さは1.2mにすぎない。この門は聖なる場所に馬に乗って入るのを防いでいる。ここに入る人は誰でも頭を下げて入らなければならないので、「謙虚の門」「狭い門」と呼ばれる。教会の階段を下りて行けば、各宗派が所有する11の銀製ランプと、14の突起を持つ、イエス様がお生まれになった飼料おけの地点を示す銀色の星がある。



**劣悪な環境と重税に低迷したベツレヘム**

イギリス委任統治領パレスチナ(1923~48)に属していたベツレヘムは、1948~49年のイスラエル・アラブ戦争が終わった後、1950年、ヨルダンに合併されてアルドゥス(エルサレム)に編入された。1967年の六日戦争以後、ヨルダン川西岸地区(ユダヤとサマリヤ)に属するようになり、イスラエルの統治を受け入れ、1995年12月、パレスチナに自治権が暫定的に委譲された。それで、ベツレヘムはイスラエル領土の中にあるが、パレスチナ自治区域であり、いつもイスラエルとの摩擦がある。高い分離壁に囲まれて出入りさえ自由でできなくて、その地域に住む人々が外に出て行くことは容易なことではなく、外からベツレヘムに入るにも難しい審査を経なければならない。

初代教会当時はパレスチナも100%がキリスト教徒だった。ところが、徐々にイスラム教の影響を受けるようになり、今はやっと1%が残っているだけだ。このような現実で牧会者たちは多くの苦悩と懐疑をかかえている。100%だったキリスト教徒が今は1%だから、結局は0%になるのではないかという危機に際して、牧会についての確信さえ持てない。また、聖徒が結婚しようとしても式場がないし、召天しても埋葬地を求めることができない。こんな状況だから、人々はプロテスタントを信じようと思わない。埋葬地を宗教団体が管理する力もお金もないし、土地が購入できないから埋葬する場所がないのだ。それで、他の宗教が管理している埋葬地に土地を得ようと交渉しても、容易なことではなく、仮に得たとしても非常に高額である。キリスト教の力はますます衰退し、信者数は減り、露骨な迫害が頻繁に起こり、いろいろな危険にさらされて生きていく。

**イエス・キリストが宣べ伝えられた2007年ベツレヘムでのクリスマス**



2007年7月から始まったイ・ジェロク牧師の3年間のイスラエル宣教の2次訪問では、ベツレヘムの牧会者の集まりがあった。この集会は12月24、25日のベツレヘムでのクリスマス礼拝につながった。「3回イスラエル宣教はもう少し特別な意味を持つものでした。クリスマスを迎えて、この地上はもろもろの霊の世界でも、もう一度全人類の救い主であるイエス・キリストが宣べ伝えられるという大きな意味を持つ出来事でした。神様と主の御名がもう一度全宇宙で栄光をお受けになる、驚くべき出来事だったからです。」(イ・ジェロク牧師の説教より)

クリスマスにイエス様がお生まれになったベツレヘムで人類の救い主イエス・キリストをもう一度宣べ伝えて、神に賛美とリズムで栄光をささげた。ベツレヘムの牧会者たちは、誰も関心を持たなくて疎外されていた自分たちに神がしるしを見せてくださったと喜んだ。イ・ジェロク牧師が彼らを訪ねて、イスラエルに向けられた神の摂理とイスラエルの福音化を伝えるとき、これは神が自分たちに向かっておられるという証拠だと信じたのである。これをきっかけにして、ベツレヘムの牧会者たちは聖潔の福音と神の力あるわざを体験したので、もう一度希望を持って、教会がリバイバルできるという自信を持った。その結果、ベツレヘムの教会は日増しにリバイバルして、分れていた教会が一つになっている。(次号に続く)